

4/27~5/6

GW限定の木の遊び場が登場

町総面積の9割を占める森林に親しみを感じ、木に親しみ、木と触れ合ってもらおうと、大型連休に合わせて遊んで学べる！「にちなんモクイクパーク」が町総合文化センターエントランスに特別開設されました。設置された遊具は県産材を利用した木の滑り台や積み木、ままごとセットなどで、期間中には400名近い親子連れが訪れました。

訪れた子どもたちは、普段あまり触れることのない大きな木の遊具で遊ぶことで木の温もりを感じているようでした。



4/24

野菜の作り方を学ぶ

日南小学校2年生を対象とする野菜の作り方や楽しさを学ぶ授業がスタートしました。授業では夏野菜の栽培を体験する予定で、この日はまず野菜の作り方についての学習が行われました。

学習は、トマト農家の糸田啓さん（いとだけい 多里）と元農業研修生指導員の小谷正美さん（こたけまさみ 神戸上）を先生として、スライドを使用し児童に質問する形で行われ、児童は積極的に発言し、楽しく野菜の作り方を学んでいました。



5/15

県が町内の圃場で実証プロジェクト



県が今年度から行うスマート農業技術の開発・実証プロジェクトの現地研究が印賀地内の株式会社ファームイング（いわたしんや 岩田真也代表取締役）の圃場で行われました。この日

行われたのは、ドローンを利用した水稻の直播で、県や地域の農家、JA鳥取西部の関係者が興味津々に見守っていました。これから費用対効果の検証などが行われますが、労力は普通の田植えの半分以下になるのではと見込まれています。県では今回のドローンのほかにも実証を行い農業のスマート化を取り組んでいく予定です。

5/1~6

令和改元を慶ぶ春祭り

阿毘縁むらづくり協議会文化学習部（はやしむきよ 林富実代部長）主催の「春祭りin阿毘縁」がゆきんこ村で開催されました。期間中には、ゆきんこ村の古民家「山の神」に旧木下家の三段雛やお雛さんを描いた掛け軸の「掛け絵さん」が展示され、グラウンドには約30匹の鯉のぼりも設置されました。

また5日は、阿毘縁むらづくり協議会長の荒金敏文さん（あらいねとしみ 荒金敏文）によるサクソや、ゆきんこ村四季彩の支配人本池都さん（もといけみやこ 本池都）による琴の演奏が行われ、訪れた人々を楽しませていました。

